

車道の改良



一見、普通の舗装路ですが、ラインに非リブ式高視認性路面標示を採用しており、雨天時の視認性がよくなることにより、ドライバーの安全性が向上しました。
(平成20年度施工)



何も変わっていないように見えますが、ドライバーの視線の先に「剣山」の案内板を設けることにより、過剰な視線移動の防止に努めると共に、安全性の向上を図りました。こういった細かい配慮もユニバーサルデザインのひとつです。
(平成20年度施工)



従来品より大きい木製ガードレールと視線誘導標により、ドライバーの路肩への視認性が向上しています。また、広い路肩により歩行者が安全に通行することもできます。
(平成20年度施工)